



第58回日本小児神経学会学術集会に参加して

小児科 古島わかな

第58回日本小児神経学会学術集会が6月3日～5日の3日間、新宿で開催されました。都内での開催のため、病棟に立ち寄ってから会場にかけつけられるということもあり、11名もの医師が参加することができました。

今回の学会テーマは、「子どもたちの未来のために～小児神経と多領域との懸け橋～」でした。小児神経分野は、医療分野だけでなく、福祉、教育など、医療以外の様々な分野との連携をはかっているという状況を踏まえ、医学以外の多くの分野の新しい知見や技術の観点から、小児神経学の今後についてとりあげたとのこと。学会40周年を記念して行われた記念シンポジウムには、秋篠宮ご夫妻も御臨席され、2020年の東京オリンピック開催もふまえ「スポーツはこどもの脳を育む」とのテーマで行われました。スポーツ庁長官鈴木大地さんのスポーツ行政の話、こどものやる気と脳機能を高める柳沢運動プログラム、発育期の運動習慣が心臓血管中枢へ及ぼす影響など、珍しい話題にふれることができました。講演の合間には3年連続日本一になっているという9歳の天才空手少女の演武もあり、ものすごい迫力でした。

当センター医局からは、4つの発表がありました。ポスターでは、渥美医師が「障害児者の摂食嚥下を診ている立場から小児神経科医に伝えたいこと」、口演では、大越医師が「重症心身障害者のメラトニンと酸化ストレスとの関係」、田沼先生が「毛細血管拡張性運動失調症の少量ベタメサゾン療法前後におけるバイオマーカー解析」、長澤先生が「てんかん症状改善に伴う高周波成分 (HF0) の減少～てんかん治療における新しい指標～」の発表をされました。センターでは、重症児者の健康管理だけでなく、こんなに幅広い視点で研究もしているのだ！と自分が発表者でもないのに誇らしく感じました。

その他、興味深かったのは、脳腸関連の講演です。腸内細菌が、消化器症状に対してだけでなく、

体のストレス反応、神経伝達物質の産生、神経細胞の成熟、体重の増減、痛みの感じ方など、様々なことに影響を与えていることを示唆するデータについて、紹介されていました。また3日目には、朝から晩まで11もの教育講演が行われ、とても盛り沢山の学会でした。

この学会で得た知見を、入所者の皆さんの健康維持、QOLの向上に役立てていきたいと思っております！



第41回府中市みんなで楽しむ軽スポーツ大会に参加しました！

指導科 丸山 秀子

5月21日（土）、府中市民陸上競技場で「第41回府中市みんなで楽しむ軽スポーツ大会」が行われました。障害のある方々が一同に会し、気軽にスポーツを楽しむ会です。府中市内の23団体から700名位の参加がありました。府中療育センターからは、1階・2階・5階病棟の8名の利用者と2名の保護者が参加されました。

晴れ渡った青空の下で、汗ばむ陽気でしたが、4組に分かれて競い合いました。玉入れや大玉ころがし、リレーは、紅白の二組に分けられました。また、パンくい競争などもあり運動会らしい競技を楽しみました。お昼は、センター特製のから揚げ弁当デザート付きで、利用者の皆様は、美味しくお弁当を食べていました。

最終種目の紅白リレーには、センターから3名の方が参加しました。多くの声援を受け、精一杯頑張りました。結果は、センターの属する白組が総合優勝をし、立派な表彰状を頂きました。普段とは違った雰囲気の中で、地域の皆様と過ごすことが出来て、とても楽しい一日となりました。

**通所遠足**

通所 中島 達也

5月26日(木)27日(金)の2日間に分け、通所で遠足を行いました。今年も去年好評だった府中郷土の森に行きました。

26日は天気も良く、集合写真を撮った後は、新緑の郷土の森内を散策。ソフトクリームを堪能する人、滝まで足を延ばしマイナスイオンを浴びる人、水辺で遊ぶ人などそれぞれ楽しみました。

27日は残念ながら雨の遠足となってしまいましたが、全員2階の博物館に上がることができ、府中のお祭りの様子や、府中の歴史に触れることが出来、晴れの日では味わえない楽しい遠足だったと思います。その後雨も上がり、少しですが郷土の森内を散策することが出来ました。

晴れグループと雨グループと異なった遠足になりましたが、それぞれ楽しむことが出来、新たな思い出になったと思います。



春の企画

指導科 安齊 美穂



「はずれたら当然掛け金は没収です」と辛口コメント付きのルーレットあり、ロボット掃除機ルンバを使った的当てあり、赤いシートにコインを載せて数字と睨めっこのカードゲームあり。6月7日（火）PT室をお借りして「カジノゲーム大会」ラスベガス in センターが行われました。

1人500円硬貨5枚の持ち金でスタート。勝つか負けるか一発勝負。室内のため梅雨入りした天候でも大丈夫。2時を少し過ぎた時点で大入り満員でした。

病棟、通所で約100名の利用者の参加となりました。総合優勝は3-1病棟、第2位通所、第3位1-A病棟、第4位1-B病棟でした。個人優勝は1-A病棟(Y,Uさん)そして、第2位3-1病棟(M,Sさん)第3位3-1病棟(T,Kさん)となりました。

それぞれ商品をゲットして終わりました。本場のカジノに行ってみたいね～と言いながら時間は過ぎました。次回はもっと高額で悪徳なカジノゲームを開催しましょうか？（笑）

コインとして使用したペットボトルのキャップ収集のご協力ありがとうございました。



ROULETTE（ルーレット）



会場は大盛況！



カードは揃うのか！みなさん真剣な眼差し



HIT A TARGET（的当て）

春の総合防災訓練

事務室 山口 裕輔

5月24日(火曜日)府中療育センターで春の総合防災訓練が行われました。当日、4-2病棟において、夜間に火災が起こった想定でした。

病棟訓練の反省会では、消防司令補から良かった点や改善を要する点についてお話があり、今後の訓練に反映させ、より充実したものにできればと思います。

また、放水訓練では、消防署員の方々から消火器や消火栓の操作方法について、指導していただき、職員が貴重な体験をする機会となりました。体験した職員からは、「水圧が非常に強かった」等の意見を頂戴し、体験の重要性を実感しました。

最後に防災教育として、消防司令補から地震についての講話をいただきました。直近で発生した熊本地震のお話や、過去の大地震により生じた2次災害や新聞記事等を用いて職員に対し日頃の心構えの大切さを教えてくださいました。

また、放水訓練及び防災教育には、府中療育センター全部署の職員が参加し、府中療育センター全体としての防災に対する意識の高さを感じる訓練となりました。

この総合防災訓練で得た知識や教訓を大切に、防災への意識をより一層高めていきたいと思えます。このたびの訓練は、大変有意義な訓練となりました。



2-B 招待観劇

2-B 寺栖 明美

6月15日(水曜日)にAnn-1さん(3名)をお迎えして、軽快なリズムと民族楽器・歌にあわせたバンド演奏でした。5曲の演奏があり、「katari be」「いいことあるよ」のオリジナル2曲と3曲のカバー曲を披露していただきました。

ボリュームのある声、全身に響くリズムは、生演奏でなければ味わえないですね。利用者様も楽器を鳴らしながら、体を揺らし声を出し笑顔一杯で楽しみました。



〒183-8553

東京都府中市武蔵台2-9-2

東京都立府中療育センター

電話 042(323)5115

Fax 042(322)6207

--*ホームページもご覧下さい*-*-*

<http://www.fukushihoken.metro.tokyo.jp/fuchuryo/index.html>